

聴力検査
成績の符

又た言葉によりて聴取の距離に相違がある、母音は一般に聴取し易ひ殊に『ア』
『イ』は『オ』『ウ』に比して聴取距離が多い、子音に在ては其差異が一層著しい
『サ』行『タ』行及び『ハ』行は他の『バ』行『ラ』行『マ』行『ナ』行等に比して遙
かに聴取し易い。

通常は聴取 大なる『新橋』先生『酒』三十三『十八』等及び其短小なる『富士
の山』福岡『横濱』等の語を用ゆる。検査に由て得たる成績は

右耳六m(迷突)新橋

左耳十m(三十三)

と記入するのである、即ち右耳は六迷突の距離で『新橋』を左耳は十迷突にて『三
十三』を聴取し得たのを示すのである。

懐中時計は補助検査器たるに止まり現今では餘り用いない。

其他兒童に屢々見る耳聾鬱積(耳垢)等あれば注意して取除き其高度のものは專

口腔の検査

門醫家に托さねばならぬ。

口腔の検査

齒牙の健否、扁桃腺肥大の有無を検査するので是は別段六ヶ敷はない、素人に
でも一見すれば直ぐ分ることであるから、茲には管々しく述べぬ。

附録 小兒體格検査法 終

|| 新纂看護婦學第四版出來 ||
醫學博士 三輪德寬先生 校閱并序 長尾肱齋先生編纂

新纂看護婦學

附 錄
調劑法

全 一 冊

●本製製本美麗堅牢●紙數六百十五頁●精密圖畫參百餘個
○正價壹圓四拾錢○郵稅十二錢
本書發刊以來僅ニ二ケ年有餘、一版・二版・三版ヲ通ジテ數千部ヲ賣盡シ客年來久シク缺本中ノ處、今回大増補改訂第四版ヲ發行ス。本書ノ編纂方針及内容如何ニ就テハ世既ニ定評アリ。今故ラニ絮說ノ要ヲ見ザル可シ。實ニ看護學書中ノ白眉ト稱セララル茲ニ第四版成ルヲ告グ倍舊ノ愛讀ヲ待ツ。

發行所

東京市本郷區湯島切通坂町八番地 南江堂書店
電話下谷一三三〇番・四八三九番・振替東京一四九
京都市上京區寺町通御池南
電話上二〇三〇番・振替貯金大阪一一五〇五番 南江堂京都支店

大正六年八月一日印刷
大正六年八月十五日發行



發行所

東京市本郷區湯島切通坂町
南江堂書店
電話下谷一三三〇、四八三九・振替東京一四九
京都市上京區寺町通御池南
南江堂京都支店
電話(上)二〇三〇・振替大阪一一五〇五

小兒病看護學

正價金壹圓

著者 長尾

發行者 小立 鈺 四郎

印刷者 加藤 晴吉

印刷所 合資 正文 舍
東京市本郷區湯島切通坂町五十二番地



肆書捌賣

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	本郷區春木町二丁目	神田區通新石町	東京市日本橋區通三丁目	本郷區春木町三丁目
龍岡町	湯島切通坂町	湯島切通坂町	湯島切通坂町	本富士町	本富士町	本富士町	龍岡町	龍岡町	龍岡町	龍岡町	半田屋書店	朝香屋書店	丸善書店	南江堂支店
根津書店	富倉書店	宮澤書店	金原書店	文光堂書店	明文館書店	克誠堂書店	南山堂書店	朝陽堂書店	吐鳳堂書店	半田屋書店	朝香屋書店	丸善書店	南江堂支店	
同	新潟市古町	長崎市引地町	金澤市片町	福岡市博多西町	熊本市洗馬町	熊本市新二丁目	仙臺市國分町	岡山市上ノ町	名古屋市中區榮町六丁目	同	同	京都市三條通	同	大阪市心齋橋筋一丁目
古町通	萬松堂支店	安中集榮堂	字都宮書店	丸善書店	芹川書店	長崎次郎	丸善支店	渡邊宗二郎	丸善書店	大黒屋書店	若林茂一郎	丸善支店	丸善書店	松村九兵衛

56
135

6

終

